

平成17年度 一般会計予算

第7次 総合発展計画の最終年度

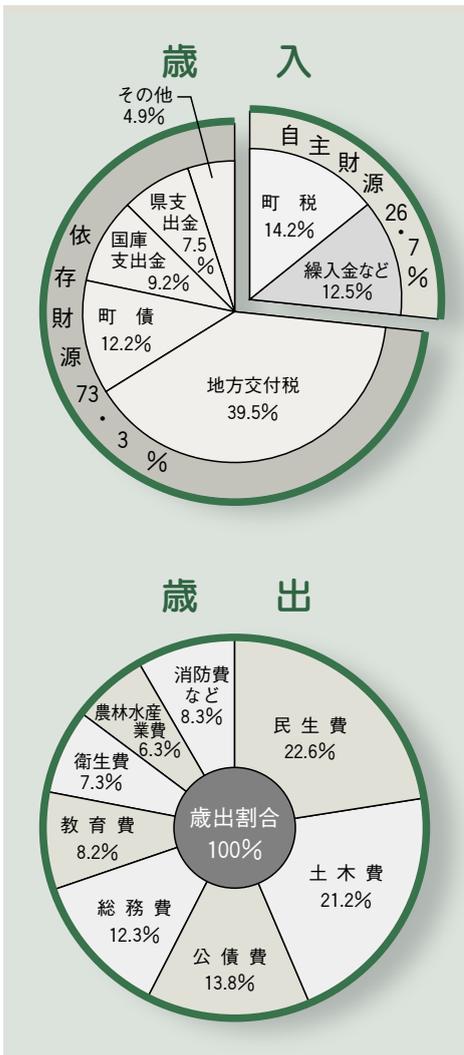
総額71億円で町づくり

平成十七年度の町一般会計予算の総額は、歳入、歳出それぞれ七十一億六千六百四十五万円です。長引く景気低迷の影響などで、町の当初予算は前年と比べ五・三%の減となっております。厳しさを増す町の財政事情ですが、限られた財源の効率的な運用に努めるとともに、本年度は第七次町総合発展計画の最終年度でもあることから、計画の達成に向けて各種事業を着実に推進していきます。

歳入（町に入ってくるお金）で最も大きな割合を占めるのが、地方交付税の二十八億二千九百万円（前年比〇・一%増）、全体の三九・五%を占めています。次に多いのが皆さんから納めていただく町税で、十億一千七百八十二万円、前年と比べ〇・一%の減となっております。国や金融機関などから借り入れる町債は八億七千七百四十万円、前年と比べ二・六・六%の減となっております。これは、投資的経費の抑制により、農林水産業債や土木債が前年より二億一千八百五十万円の減となったほか、地方交付税の財源振り替えである臨時財政対策債が前年より九千八百八十万円減ったことによるものです。

歳出（町が各種事業などに使うお金）で最も多く配分されたのが、民生費の十六億一千七百六十五万円。歳出全体の二二・六%を占め、前年比で〇・六%の減となりました。次に多いのは、土木費の十五億一千九百九十七万円（前年比六・〇%減）。主な事業として、柳沢北浜地区土地区画整理事業、町営住宅柳沢第一団地（E棟）建替事業、長林大浦線改良事業などがあります。町債の返済に充てる公債費は、九億八千八百二十万円、前年と比べ一・六%の減となっております。前年比で著しく減少したのが農林水産業費で、二・三・二%減の四億五千九十八万円。これは、堆肥センターが十六年度でほぼ完成したことによるものです。

◆平成17年度一般会計予算の構成比



◆平成17年度一般会計歳入歳出当初予算の状況

(単位：万円)

歳入			歳出		
区分	予算額	伸率	区分	予算額	伸率
町税	101,782	△ 0.1	民生費	161,765	△ 0.6
繰入金	69,790	△ 8.0	土木費	151,997	△ 6.0
分担金・負担金	9,204	△ 3.2	公債費	98,802	△ 1.6
使用料・手数料	7,271	△ 5.4	総務費	88,016	△ 5.3
諸収入	2,614	△ 6.7	教育費	58,656	△ 7.9
財産収入	436	3.7	衛生費	52,172	△ 2.7
繰越金	10	0.0	農林水産業費	45,198	△ 23.2
寄附金	0	0.0	消防費	37,513	△ 6.5
地方交付税	282,900	0.1	議会費	11,250	△ 0.4
町債	87,740	△ 26.6	商工費	10,656	1.8
国庫支出金	65,543	△ 2.7	労働費	119	△ 1.2
県支出金	53,405	△ 8.0	災害復旧費	1	0.0
地方譲与税	15,310	39.8	予備費・その他	500	△ 28.6
その他	20,640	4.0			
合計	716,645	△ 5.3	合計	716,645	△ 5.3